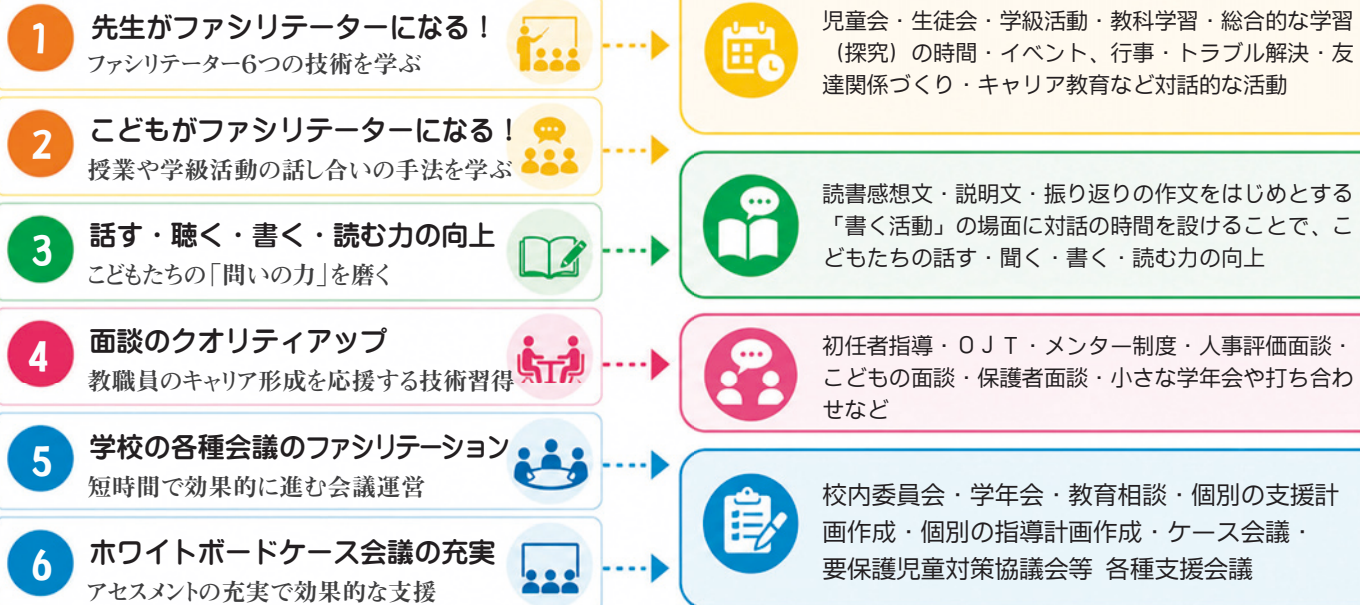




プラン例（年5回／単発も可）

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
1 入門研修 ファシリテーション6つの技術で、こどもが活躍する授業や学級経営の基礎を学びます。	2 3 モデル授業 こどもを対象としたファシリテーター入門講座を実施。放課後には教員研修を実施。	5 6 振り返り 実践を振り返り、今後の計画を立てます。また、ケース会議研修などを実施。	4 5 実践と振り返り 授業や学級経営の実践と振り返りを行います。また、キャリア形成支援研修を実施。	4 6 振り返りと次年度計画 ファシリテーターとしてのスキルを振り返り、次年度の計画。個別の指導計画、研修等を実施。

承認しあう関係性を築こう

山形大学教育学部教授 吉田 誠



主体的・対話的な学びへの指導方針の転換が求められる多忙な学校現場において、組織全体にファシリテーションを導入することで教師のマインドセットの変容、児童の主体的・対話的な学びの姿勢、組織的な授業改善などを一気に実現する「学校サポートプラン」は包括的な学校改革の基盤になりうると考えます。今回のモデル事業では短期的・部分的な導入であっても一定の成果が認められました。将来的に「学校サポートプラン」を通してすべての教室、学校に安心安全な承認しあう関係性が築かれることを願います。

誰もがファシリテーターになる学校へ

ちよんせいこ



ファシリテーションは、誰かが誰かの力を引き出すのではなく、一人ひとりの力が溢れ出す場を、みんなでつくる技術です。日々の実践と振り返りを身につけることができます。互いの声を聴き、問いをもち、違いを認め、ともに考える。この力は探究的な学びや日常の授業の土台となり、さまざまな課題を、対話を通してともに解決する力にもつながります。温かくエンパワメントな学校をみんなでつくる「学校サポートプラン」を、ぜひご活用ください。

幸せな子ども時代を、すべてのこどもたちに

一般社団法人terra 代表理事 工藤 美季



こども会議やこどもアドボケイトなど、こどもの声を大切にする取り組みが少しずつ広がっています。私たちが大切にしているファシリテーションは、まさにその土台。こどもたちが「ここでは自分の思いをありのままに伝えていいんだ」と安心できる関係性を築くためのものです。学校がこどもたちにとって、楽しくて居心地の良い場所であることの大切さを、そのたびに実感します。先生もこどもも、みんながファシリテーターになれる。そんな笑顔あふれる学校づくりのお手伝いを、これからも続けてまいります。

ファシリテーション力が向上する 学校サポートプラン

～先生・こども・保護者の笑顔が増える エンパワメントな学校づくり～



「ドコモ市民団体助成金事業」実施報告

「学校サポートプラン」は、学校に安心安全な“承認しあう関係”を築く、職員研修・授業支援・教員伴走支援を提供するプログラムです。

学校のニーズに合わせた研修内容を組み立てホワイトボード・ミーティング®の手法を用いたファシリテーションで、先生やこども・保護者・地域と、より深い理解と信頼関係を築くお手伝いをします。



ファシリテーションの力（ちから）

学校教育に求められる「ファシリテーション力」を 総合的・継続的に育むプログラムです

教職員



子ども



保護者・地域



授業力向上・学級経営力・チーム学校の機能強化

個を大切に協働的に学び合う関係の醸成

学校を中心とした地域社会との協働

学校サポート
プランの特長

- ➡ 聴く力・話す力・共感する力・合意形成力が身につきます。
- ➡ とともに成長し学び続ける土台づくりをします。
- ➡ インクルーシブで心理的安全性の高い学びの場づくりをすすめます。

伴走支援事業

「ドコモ市民団体助成金事業」として2025年度は村山地域の3つの小学校でモデル事業を実施しました。
(実施期間：令和6年9月～令和8年8月)

事例1 尾花沢市立常盤小学校

継続した「振り返り」の充実をめざして、自律的な学習集団の形成に取り組みました。
「ときわ未来会議」では、子どもがファシリテーターとなり「これからしたいこと」について地域の方々と対話。地域と子どもがファシリテーションを通して「共に未来を創る存在」へと関係性を深める貴重な時間となりました。



ホワイトボード・
ミーティング®
の実践

地域に触れる
体験と気づき

作文
指導

対話力の
向上

事例2 天童市立高掬小学校

- ・子どもファシリテーター体験事業プログラム
(令和6年度4年生)
- ・教員研修(3回) ・6年生の担任サポート



事例3 天童市立寺津小学校

- ・教員研修 ・3年担任、6年担任サポート
- ・子どもファシリテーター体験事業プログラム(4年生)



体験事業実施校 (令和6年～8年)

山形市立鈴川小学校・寒河江市立南部小学校・寒河江市立柴橋小学校・河北町立西里小学校



こどもファシリテーター体験事業

授業では、ホワイトボード・ミーティング®のファシリテーション体験を全2回で実施しました。



アンケートの結果より(抜粋)

教員・児童へのアンケートの回答では、単に「自分が話す」だけでなく、「相手の話をどう聞くか」というファシリテーションの核心部分が、共通の価値として認識されていました。

Q. どんどこで役にたちそうですか？(児童アンケート)



印象に残った
児童の変化
(教員)

聞く姿勢と配慮 … 声が小さい子に近づいて聞く／優しく待つ
アウトプットの変化 … 一生懸命メモする／ホワイトボードで整理
交流の深化 … オープンクエスチョンで深まる
自己肯定感の向上 … 自分のことを聞いてもらって満足している様子

